

のメトリザマイドの副作用および塩酸ブプレノフィン (Bpr) 髄腔内投与の副作用予防 (鎮痛) 効果について. 第16回近畿脊椎外科研究会, 1987, 10, 大阪.

- 33) 原田 淳, 遠藤俊郎, 大辻常男, 中田潤一, 高久 晃: 興味ある経過をとった上矢状洞降下術施行の1乳児例. 第22回日本脳神経外科学会中部地方会, 1987, 11, 名古屋.
- 34) 広田 茂, 栗本昌紀, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: 中脳水道狭窄による水頭症を呈した von Recklinghausen 病の1例. 第22回日本脳神経外科学会中部地方会, 1987, 11, 名古屋.
- 35) 遠藤俊郎: 経頭蓋的眼窩開窓術に関する外科解剖. 第2回眼窩疾患シンポジウム, 1987, 11, 名古屋.
- 36) 堀江幸男, 新井研治, 栗本昌紀, 神林智作, 高久 晃: ヒト悪性 glioma (TM-1) 培養上清液の増殖促進作用—TM-1 およびラット glia 細胞に対する効果—. 第2回神経組織の成長・再生・移植研究会学術集会, 1987, 12, 東京.

#### ◆ その他

- 1) 高久 晃: 脳死の問題を考える. 富山県弁護士会会報 4: 4-22, 1987.
- 2) 高久 晃: 前頭部脳瘤について. 学園だより 28: 10-11, 1987.

#### ◆ 講演

- 1) 高久 晃: モヤモヤ病の正体と治療. 脳卒中の治療最前線・市民講演会, 1987, 5, 仙台.
- 2) 岡 伸夫: 小児水頭症の現況. 第13回富山県小児科集談会特別講演, 1987, 6, 富山.
- 3) 高久 晃: 老人と脳卒中. 昭和62年度富山医科薬科大学公開講座, 1987, 6, 富山.
- 4) 高久 晃: 意識障害患者の primary care. 昭和62年度富山県救急医療施設医師研修会, 1987 9, 富山.
- 5) 遠藤俊郎: 頸部内頸動脈閉塞症の治療経験. 第80回宮城県脳卒中治療研究会, 1987, 11, 仙台.
- 6) 高久 晃: 脳卒中の外科 最近の動向. 滑川市医師会学術講演会, 1987, 12, 富山.

## 整形外科学

教授	辻 陽雄
助教授	伊藤 達雄
講師	山田 均
講師	加藤 義治
助手	吉田 孝太郎
助手	高野 治雄
助手	高松 井寿夫
助手	関戸 弘道
助手	八島 省吾
助手	米澤 孝信
文部技官	佐野 明美

#### ◆ 著書

- 1) 辻 陽雄: 脊椎迂り症を伴う脊柱側彎症, 「今日の整形外科治療指針」(山内, 真角, 辻, 桜井編), 314-315, 医学書院, 1987.
- 2) 辻 陽雄: 腰痛・下肢痛の捉え方. 「今日の整形外科治療指針」(山内, 真角, 辻, 桜井編), 323-325, 医学書院, 1987.
- 3) 辻 陽雄: 椎間板ヘルニアの手術療法. 「今日の整形外科治療指針」(山内, 真角, 辻, 桜井編), 331-334, 医学書院, 1987.
- 4) 辻 陽雄: 多数回腰椎手術の治療. 「今日の整形外科治療指針」(山内, 真角, 辻, 桜井編), 335-336, 医学書院, 1987.
- 5) Itoh T.: An isolated congenital narrow canal of the atlas. Cervical Spine I, (P. Kehr and A. Weidner, ed.) pp317-321, Springer-Verlag, Heidelberg, 1987.
- 6) 伊藤達雄: 頸髄症(後縦靱帯骨化症を含む). 「今日の治療指針 vol. 29」(日野原, 阿部編), pp578-579, 医学書院, 1987.
- 7) 伊藤達雄: 頸髄障害のとらえ方. 「今日の整形外科治療指針」(山内, 真角, 辻, 桜井編), 256-260.
- 8) 伊藤達雄: 脊椎カリエス. 「今日の整形外科治療指針」(山内, 真角, 辻, 桜井編), 256-260, 医学書院, 1987.

#### ◆ 原著

- 1) 辻 陽雄, 伊藤達雄, 森田多哉, 石原裕和: 人工頸椎椎間板の試作と臨床応用. 中部整災誌 29: 1505-1506, 1986.
- 2) 伊藤達雄, 辻 陽雄: En-block laminoplasty. 手術 41: 509-518, 1987.
- 3) 伊藤達雄: 広範囲椎弓切除からみた脊椎固定術の適否. 中部整災誌 30: 40-42, 1987.

- 4) 浦山茂樹：髓核摘出後における家兎腰部椎間板の変性過程に関する組織学的、電子顕微鏡学的研究—とくにその地理学的変性分布について—。日整会誌 **60**：649-662, 1986.
- 5) 辻 陽雄，豊臣誠三：圧迫変形を受けた腰神経根の理論的応力分布の特性と神経根除圧の考え方について。臨床整形外科 **22**：411-416, 1987.
- 6) 吉田 豊，立石昭夫，山脇慎也，高田典彦，竹山信成，福島 博，伊藤惣一郎，富田勝郎，館崎慎一郎，武内章二，藤内 守：骨・軟部悪性腫瘍症例に対する Adriamycin と Coenzyme Q<sub>10</sub> 併用投与による副作用軽減効果について—その2：心電図変化について—。整形災害外科 **30**：723-729, 1987.
- 7) 本江 卓：ヒト腰椎椎間板線維輪の発達と変性過程における地理学的構築変化に関する研究。日整会誌 **60**：495-509, 1986.
- 8) 吉田 篤，泉田重雄，野口哲夫，半田豊和，長尾竜郎：頸髄損傷患者における車椅子駆動時の呼吸循環系の動態について。日本パラプレジア医学会雑誌 **1**：1, 1987.
- 9) 山田 均，辻 陽雄：腰部癒着性脊髄膜炎の原因的背景，ミエログラム所見および術中所見。中部整災誌 **30**：601-603, 1987.
- 10) 山田 均：家兎坐骨神経の伸張と伸張還元における電気生理学的ならびに形態学的変化に関する研究。日整会誌 **61**：217-231, 1987.
- 11) Matsui H., Tsuji H., Itoh T., Yashima S., Ichimura K., : Significance of Tangential Views in Lumbar Discography. Clin. Orthop. **221**：165-171, 1987.
- 12) 米澤孝信，坂巻 皓，小林健一，松岡 明，望月真人，岡本 弦，小野智敏：患者の満足度よりみた頸部脊髄症の術後成績。中部整災誌 **30**：111-113, 1987.
- ◆ 症例報告
- 1) 小坂泰啓，館崎慎一郎，山谷真弓，高井里香：化膿性足関節炎様症状を初発とした小児急性リンパ性白血球の1例。整形・災害外科 **30**：1111-1114, 1987.
- 2) 丸田喜美子，堂後昭彦，遠藤富士乗：良性骨腫瘍として経過観察されていた足根骨髄炎の2症例。中部整災誌 **30**：972-974, 1987.
- 3) 関 隆夫，高野治雄，館崎慎一郎，伊藤達雄：髄内占拠が疑われた砂時計 Neurinoma の1例。整形・災害外科 **30**：1009-1014, 1987.
- 4) 北野 悟，山田 均，下山勝仁，伊藤達雄，辻陽雄：大前根動脈からの塞栓術により好結果の得られた脊髄動脈奇形の2例。中部整災誌 **29**：2121-2124, 1986.
- 5) 北川秀樹，海木玄郷，金森昌彦，館崎慎一郎，伊藤達雄，辻 陽雄：多発性骨化性くも膜炎の1例。整形外科 **38**：525-529, 1987.
- 6) 石原裕和，浦山茂樹：特徴的な骨折形態を示したハングライダーによる上腕骨骨折の5例。臨床スポーツ医学 **4**：1427-1431, 1987.
- 7) 上田 剛，館崎慎一郎，辻 高明，石原裕和：悪性骨腫瘍を思わせた成長期大腿骨骨折の2例。臨床スポーツ医学 **4**：1149-1154, 1987.
- 8) 森田裕司，市村和徳，辻 高明，松井寿夫，伊藤達雄：腫瘍占拠側の対側に優位な錐体路症状を呈した硬膜内髄外腫瘍の2例。整形・災害外科 **30**：1097-1100, 1987.
- ◆ 総 説
- 1) 辻 陽雄：腰椎の機能解剖学的特徴。臨床と研究 **64**：693-697, 1987.
- 2) 辻 陽雄：腰椎外科手術器械の安全対策と2, 3の工夫。別冊整形外科 **11**：140-142, 1987.
- 3) 辻 陽雄：腰痛。老人科診療 **8**：415-417, 1987.
- 4) 辻 陽雄：腰椎支持機構障害と外科的治療。JOINT **2**：96-98, 1987.
- 5) 辻 陽雄：腰椎椎間板ヘルニアに対する前方手術法。手術 **41**：1803-1811, 1987.
- 6) 辻 陽雄：腰椎すべり症。整形・災害外科 **30**：1659-1664, 1987.
- ◆ 学会報告
- 1) Itoh T., Tsuji H. : Laminoplasty in the cervical spine. American Academy of Orthopaedic Surgeons. 54th annual meeting. 1987, 1, Sanfrancisco.
- 2) 辻 陽雄，加藤義治，丸田喜美子，市村和徳，佐野明美：傍脊柱靭帯と髄核組織との接触における相互作用（第1報），脊柱靭帯骨化症調査研究班会議，1987，2，東京。
- 3) 伊藤達雄，辻 陽雄：頸椎後縦靭帯骨化症に対する laminoplasty の成績と術後骨化巣の推移。脊柱靭帯骨化症調査研究班会議，1987，2，東京。
- 4) 高野治雄，高桑一彦，北川秀樹：大動脈瘤手術時の脊髄モニタリングの経験。第10回脊髄電気刺激研究会，1987，2，東京。
- 5) 石原裕和，浦山茂樹：特徴的な骨折形態を示したハングライダーによる上腕骨骨折の5例，第59回信州整形外科医会，1987。2。松本。

- 6) 北野 悟, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 加藤義治, 辻 陽雄: 腰椎椎間板ヘルニアに対する Chymopapain 試用経験. 第102回北陸整形外科集談会, 1987, 3, 福井.
- 7) 山下真一郎, 山田 均, 清水美恵子, 平野典和, 北野 悟, 山上 亨: 腰椎部砂時計腫の1例. 第102回北陸整形外科集談会, 1987, 3, 福井.
- 8) 山本直也, 加藤義治, 岡野良文, 高桑一彦, 北川秀樹, 寺畑信夫: 当初脊髄空洞症と誤って治療された胸髄前方部 cystic neurinoma の1例. 第102回北陸整形外科集談会, 1987, 3, 福井.
- 9) 小坂泰啓, 館崎慎一郎: 化膿性足関節炎様症状を初発とした小児急性リンパ性白血病の1例. 第102回北陸整形外科集談会, 1987, 3, 福井.
- 10) 伊藤俊一, 西能正一郎, 西能 弘, 吉岡 勉, 久保陸夫: 肘関節外傷外側々副靭帯損傷の1例. 第102回北陸整形外科集談会, 1987, 3, 福井.
- 11) 辻 陽雄, 山田 均, 高野治雄, 北川秀樹, 平野典和, 森田多哉, 山上 亨: 腰痛症候群における腰部癒着性脊髄膜炎の臨床的意義と病態. 第60回日本整形外科学会学術集会. 1987, 4, 新潟.
- 12) 伊藤達雄: En-bloc laminoplasty. (シンポジウム). 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987, 4, 新潟.
- 13) 加藤義治, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 森田多哉, 西島宗孝, 高野治雄, 辻 陽雄: 後頭骨一頸椎間固定における Luque Instrumentation の適応と問題点. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987, 4, 新潟.
- 14) 小坂泰啓, 伊藤達雄, 辻 陽雄, 野口哲夫: 脳性麻痺における頸髄障害の観血治療の検討. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987, 4, 新潟.
- 15) 増山喜一, 笠木徳三, 鈴木康将, 齊藤光和, 山下 巖, 石沢 伸, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井寿夫, 落合 宏, 庭山清八郎: OK-432中鎖脂肪(MCT)エマルジョン経口投与によるマウス人工肺転移抑制効果. 第87回日本外科学会, 1987, 4, 東京.
- 16) Tsuji H., Hirano N., Ohsima H.: Water metabolism of the Intervertebral disc: Effects induced by static compression and vibrations. International Society for the Study of the Lumbar Spine. 1987, 5, Roma.
- 17) 伊藤達雄, 小坂泰啓, 清水美恵子, 辻 陽雄: C<sub>2</sub> Dome Laminectomy の意義. 第68回中部日本整形外科災害外科学会, 1987, 5, 名古屋.
- 18) 岡野良文, 山田 均, 高野治雄, 辻 陽雄, 玉置哲也: 術前の臨床症状からみた肘部管症候群の予後判定について. 第68回中部日本整形外科災害外科学会, 1987, 5, 名古屋.
- 19) Tsuji H.: Fundamental concept and technique in combined stenosis of the lumbar spine, 3 rd. Practical course in operative spinal surgery spinal section. WPOA, 1987, 6, 千葉.
- 20) 伊藤達雄, 辻 陽雄, 小坂泰啓, 北野 悟, 高野 隆: 頸椎後縦靭帯骨化症における en-bloc laminoplasty 術後の骨化巣 X 線の形態変化について. 第16回日本脊椎外科研究会, 1987, 6, 東京.
- 21) 加藤義治, 伊藤達雄, 高野治雄, 辻 陽雄: 当科における胸椎部黄色靭帯骨化症手術例の検討. 第16回日本脊椎外科研究会. 1987, 6, 東京.
- 22) 山田 均, 加藤義治, 高野治雄, 河合 宏, 番谷 巖: 陳旧性前十字靭帯損傷に対する over the top 変法の治療成績. 第103回北陸整形外科集談会, 1987, 6, 金沢.
- 23) 山本直也, 伊藤達雄, 平野典和, 北野 悟: 硬膜背側に遊離脱出した腰部椎間板ヘルニアの1例. 第103回北陸整形外科集談会, 1987, 6, 金沢.
- 24) 野口哲夫, 半田豊和, 吉田 篤, 長尾竜郎: 脳卒中後片麻痺内反尖足に対する矯正術の検討—特に床反力計による分析—. 第24回日本リハビリテーション学会, 1987, 6, 東京.
- 25) 長尾竜郎, 野口哲夫, 半田豊和, 山本敏泰, 伊藤英一, 林 健二, 藤井 勉: またぎ動作の研究. 第24回リハビリテーション学会, 1987, 6, 東京.
- 26) 山口清直, 米澤孝信, 石原裕和, 清水美恵子, 山田 均, 伊藤達雄: 特異な転位を示したリウマチ患者における環軸椎亜脱臼の4症例. 第16回北陸リウマチ関節研究会, 1987, 7, 金沢.
- 27) Yamada H., Tsuji H., Takano H., Takakuwa K., Noguchi T., Kitagawa H.: Electrophysiological and morphological changes of rabbit sciatic nerve under the various modes of stretch and relaxation. SIROT 87, IVth World Congress, 1987, 8, Munich.
- 28) Katoh Y., Tsuji H., Sano A.: Morphologic and metabolic effects of ethane -1-hydroxy-1,1-diphosphonate (EHDP) on epiphyseal plates and metaphyses of rats. SIROT 87, IVth World Congress. 1987, 8, Munich.
- 29) Matsui H., Tatezaki S., Tsuji H.: Prophylaxis of spontaneous metastases in mice after treatment with whole lung irradiation. SIROT 87, IVth World Congress. 1987, 8, Munich.

- 30) 伊藤達雄：頸椎症性脊髄症—最近の進歩—，病態. 1987, 9, 山口.
- 31) 海木玄郷，辻 陽雄，米沢孝信，関戸弘通，高野 隆，山下真一郎，佐野明美： $H_2O_2$ ・走行負荷によるラット変形性膝関節症モデルの開発. 第2回日本整形外科学会基礎学術集会，1987, 9, 京都.
- 32) 石井 勉，辻 陽雄，佐野明美，市村和徳，山上 亨：ヒト摘出椎間板の褐色変性に関する電顕ならびに光顕的所見. 第2回日本整形外科学会基礎学術集会，1987, 9, 京都.
- 33) 大島 博，辻 陽雄，平野典和，佐野明美：椎間板水代謝に関する研究(第6報)—豚尾椎椎間板における線維輪經由及び終板經由の水分移動について—. 第2回日本整形外科学会基礎学術集会，1987, 9, 京都.
- 34) 平野典和，辻 陽雄，大島 博，北野 悟，山下慎一郎：椎間板水代謝の研究(第5報)—家兎腰椎椎間板における部位別水代謝とプロテオグリカン分布—. 第2回日本整形外科学会基礎学術集会，1987, 9, 京都.
- 35) 北野 悟，辻 陽雄，佐野明美，平野典和，寺畑信男：家兎椎間板の collagen, non-collagenous protein および，その  $^3H$ -lysine incorporation に与える chymopapain の影響. 第2回日本整形外科学会基礎学術集会，1987, 9, 京都.
- 36) 増山喜一，落合 宏，石沢 伸，山下 巖，松井寿夫，田沢賢次，庭山清八郎，藤巻雅夫： $C_3H/Hi$  マウス由来 RCT (+) sarcoma の実験肺転移形成における NK 細胞と H-2 との関連. 第46回癌学会，1987, 9, 東京.
- 37) 落合 宏，増山喜一，松井寿夫，田沢賢次，庭山清八郎，藤巻雅夫： $\beta$ -cyclodextrin benzaldehyde (CDBA) のマウス肺転移抑制効果. 第46回癌学会，1987, 9, 東京.
- 38) 山田 均，高野治雄，八島省吾，伊嶋正弘，森田多哉：Total condylar (I/B II) 型人工膝関節置換術の術後成績について. 第69回中部日本整災学会，1987, 10, 松江.
- 39) 加藤義治，関戸弘通，米沢孝信，伊藤達雄，辻 陽雄：当科における高齢者変性腰椎疾患手術例の検討. 第69回中部日本整災学会，1987, 10, 松江.
- 40) 吉田孝太郎，山田 均，西島宗孝，大島 博，森田裕司：化膿性膝関節炎の観血療法と後療法について. 第69回中部日本整形災学会，1987, 10, 松江.
- 41) 増山喜一，落合 宏，石沢 伸，山下 巖，松井寿夫，黒川昌彦，田沢賢次，藤巻雅夫，庭山清八郎： $C_3H/Hi$  マウス由来 RCT (+) sarcoma の H-2 の表現性と NK 細胞に対する感受性，転移能との関連について. 日本細菌学会中部支部，1987, 10, 福井.
- 42) 増田信二，北川正信，松井寿夫，館崎慎一郎，辻 陽雄：左下肢多発性腫瘍. 第20回骨軟部腫瘍研究会，1987, 10, 京都.
- 43) Tateishi A., Miki H., Takeyama S., Yagi T., Kakizaki H., Chigira M., Takada N., Kawano H., Higaki S., Hamada Y., Tekeushi S., Tomita., K., Matsui H., Shinjo K., Daisaku H., Inoue O. : The effect preoperative CDDP therapy for the purpose of limb salvage of osteosarcoma using multi factor evaluation method —multi institutional study—. 4th international symposium on limb salvage in musculoskeletal oncology. 1987, 10, Kyoto.
- 44) 伊藤達雄，米澤孝信，石原裕和，清水一夫，辻 陽雄：RA 広範頸椎病変に対する Luque SSI 使用下の後頭骨—頸椎間後方固定術の経験. 第15回日本リウマチ関節外科学会，1987, 11, 神戸.
- 45) 松井寿夫，伊藤達雄，山田 均，増田信二，小泉富美朝：悪性関節リウマチの一剖検例における頸椎病変について. 第15回日本リウマチ関節外科学会，1987, 11, 神戸.
- 46) 北川秀樹，高野治雄，高桑一彦，山本直也，辻 陽雄：運動機能を指標とした頭蓋刺激と脊髄刺激による脊髄誘発電位の比較検討. 第17回日本脳波筋電図学会. 1987, 11, 京都.
- 47) 半田豊和，野口哲夫，吉田 篤，長尾竜郎，樋口俊幸，伊藤達雄：各種頸椎装具の固定性の研究. 第3回日本義肢装具学会. 1987, 11, 仙台.
- 48) 増山喜一，田沢賢次，笠木徳三，山下 巖，石沢 伸，藤巻雅夫，松井寿夫，落合 宏，庭山清八郎：OK-432中鎖脂肪(MCT)エマルジョン投与によるマウス肺転移抑制効果，第2回富山腫瘍免疫研究会，1987, 11, 富山.
- 49) 吉田 篤，野口哲夫，半田豊和，長尾竜郎，泉田重雄：頸髄損傷患者における車椅子駆動時の呼吸循環系の動態について. 第22回日本パラプレジア医学会，1987, 11, 東京.
- 50) Itoh T., Yonezawa T., Kitagawa H. : Occipito-cervical fusion reinforced by Luques SSI for rheumatoid disease. Cervical Spine Research Society, 15th annual meeting. 1987, 12, Washington.
- 51) 伊嶋正弘，北川秀樹，山田 均：若年者に発

- 生した血行性腫骨化膿性骨髄炎の一例。第105回北陸整形外科集談会，1987，12，富山。
- 52) 北野隆利，関戸弘通，林 良彦，牧山尚也，加藤義治：烏口鎖骨靱帯断裂を伴った烏口突起骨折の一例。第105回北陸整形外科集談会，1987，12，富山。
- 53) 久保陸夫，松井寿夫，米澤孝信，石井 勉，白木徹一，山下真一郎：大腿神経麻痺を呈した巨大腸腰筋膿瘍の1例。第105回北陸整形外科集談会。1987，12，富山。
- 54) 桜井新樹，伊藤達雄，高桑一彦，吉田孝太郎：C1/2肥厚性硬膜炎により脊髄症状を呈したR.Aの1症例。1987，12，富山。
- 55) 上田 剛，神代靖久，森田多哉，伊藤達雄：Hangman's fracture に対する transpedicular screw を用いた1治験例。105回北陸整形外科集談会。1987，12，富山。
- 56) 吉岡 勉，西能正一郎，西能 竈，山本直也：Perry 法による脛骨外顆骨折の2例。第105回北陸整形外科集談会。1987，12，富山。
- 57) 海木玄郷，藤井保寿，五十嵐昌則，関 隆夫：腰椎椎間板ヘルニア症状を呈した heterotopic ganglia の1例。第105回北陸整形外科集談会。1987，12，富山。
- 58) 岡野良文：腰椎前方固定術後に肺塞栓症と静脈炎を併発した1症例について。第775回千葉医学会整形外科例会。1987，12，千葉。
- 59) 松井寿夫，辻 陽雄，加藤義治：胸椎黄色靱帯骨化症により脊髄症を呈した低リン血症性ビタミンD抵抗性クル病の1例。第9回北陸Ca代謝談話会。1987，12，金沢。
- 60) 守矢秀幸，寺畑信男，宮坂 斉，館崎慎一郎，高田典彦：胸髄に発生した脊索腫の1例。第775回千葉医学会整形外科例会。1987，12，千葉。
- ◆ その他
- 1) 加藤義治，伊藤達雄，館崎慎一郎，森田多哉，西島宗孝，辻 陽雄：後頭骨-頸椎間固定における Luque instrumentation の適応と問題点。日整会誌 61：S1085，1987。
- 2) 伊藤達雄：En-bloc laminoplasty。日整会誌 61：S447-448，1987。
- 3) 小坂泰啓，伊藤達雄，辻 陽雄，野口哲夫：脳性麻痺における頸髄障害の観血的治療の検討。日整会誌 61：S650，1987。
- 4) 辻 陽雄，山田 均，高野治雄，北川秀樹，平野典和，森田多哉，山上 亨：腰痛症候群における腰部癒着性脊髄膜炎の臨床的意義と病態・日整会誌61：S983，1987。
- 5) 平野典和，辻 陽雄，浦山茂樹，佐野明美：椎間板水代謝の研究（第3報）-力学的振動負荷におけるヘルニア椎間板の水代謝変調について。日整会誌 61：386，1987。
- 6) 半田豊和，辻 陽雄：<sup>35</sup>S sulfate 全身オートラジオグラムによるラット腰椎椎間板のプロテオグリカン出納パターンについて（第1報）。日整会誌 61：288，1987。
- 7) 大島 博，辻 陽雄，平野典和，佐野明美：椎間板水代謝に関する研究（第4報）豚尾椎椎間板の連続圧縮荷重における水分移動について。日整会誌 61：388，1987。
- 8) 辻 陽雄：靱帯骨化発生の局所要因に関する基礎的解析。脊柱靱帯骨化症調査研究班 昭和61年度研究報告書：44-45，1987。
- 9) 丸田喜美子，辻 陽雄，佐野明美：結合織骨化誘発における椎間板ならびに力学的因子に関する研究-ラット尾椎強制彎曲系における椎間板内H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>および生理的食塩水注入と骨化-。脊柱靱帯骨化症調査研究班 昭和60年度研究報告書：145-148，1987。
- 10) 寺山和雄，辻 陽雄他：横割り研究・後縦靱帯骨化症の家系調査。脊柱靱帯骨化症調査研究班 昭和60年度報告書：19-21，1986。
- 11) 大塚訓喜，辻 陽雄他：後縦靱帯骨化症の10年以上経過例の調査-自然経験90例，術後経過90例-脊柱靱帯骨化症調査研究班 昭和60年度報告書：71-77，1986。
- 12) 塩川優一，青木虎吉，七川欽次，菅原幸子，辻 陽雄，小川暢也：変形性膝関節症に対するフルルピプロフェン含有貼付剤の有用性，炎症 7：97-104，1987。
- 13) 山田 均，塩川優一，七川欽次，青木虎吉，菅原幸子，辻 陽雄，小川暢也：変形性膝関節症に対するフルルピプロフェン含有貼付剤の有用性-インドメタシン軟膏との比較-。セラピューティック。リサーチ 6：121-126，1987。
- 14) 辻 陽雄，日高達郎，三橋 稔：「成形パップ剤の臨床効果と安全性」非ステロイド外用貼付剤の基礎と臨床，成形パップ剤について。ラジオ短波放送収録誌：14-21，1987。
- 15) 辻 陽雄：腰痛とうまくつきあう法。NHK おはよう健康スペシャル12号：6-26，1987。
- 16) 辻 陽雄：腰椎機能障害の判断と外科的治療。第4回神奈川関節外科研究会。日整会教育講演，1987，1，横浜。

# 産科婦人科学

教	授	泉	陸	一
講	師	長	恒	樹
講	師	新	居	隆
講	師	川	端	正
助	手	細	川	仁
助	手	加	藤	潔
助	手	山	岸	雅
助	手	今	井	敏
助	手	長	谷	川
助	手	八十	島	邦

- 17) 山田 均：スポーツ障害の実態と対応について 61年度少年スポーツ育成活動指導者研修会，1987，3，庄川町。
- 18) 伊藤達雄：整形外科医よりみたりウマチ性疾患 魚津市医師会学術講演会。1987，6，魚津市。
- 19) 辻 陽雄：からだが資本～腰痛とうまくつきあう法 氷見市制35周年記念，NHK福祉セミナー，1987，7，氷見市。
- 20) 辻 陽雄：腰痛のみかた・解釈のしかたと治療の基本。第7回兵庫県リウマチ夏期セミナー特別講演。1987，7，神戸。
- 21) 辻 陽雄：腰痛の診かた解釈の仕方と治療の基本。学術講演会特別講演(吉富製薬(株)主催)1987，7，前橋。
- 22) 伊藤達雄：整形外科医よりみたりウマチ性疾患 滑川市医師会学術講演会。1987，7，滑川市。
- 23) 辻 陽雄：脊椎，脊椎外科手術の要諦。富山医科薬科大学 第4回立山セミナー，1987，8，富山。
- 24) 辻 陽雄：痛みの成り立ちと治療の考え方。富山医科薬科大学第4回立山セミナー，1987，8，富山。
- 25) 伊藤達雄：上位頸椎疾患の診断—とくに神経学的解析の基本と頸椎ミエログラムの見方—。富山医科薬科大学 第4回立山セミナー，1987，8，富山。
- 26) 加藤義治：骨粗鬆症の基礎的知識と治療の動向。富山医科薬科大学 第4回立山セミナー，1987，8，富山。
- 27) 伊藤達雄：頸椎疾患をめぐる。砺波市医師会学術講演会，1987，9，砺波市。
- 28) 辻 陽雄：腰痛。第6回市民医薬学講座，1987，10，富山。
- 29) 辻 陽雄：腰痛予防について，'87健康づくりの集い。講演，1987，10，八尾町。
- 30) 山田 均：スポーツ障害について。富山大学62年度体育サークルリーダー研修会，1987，10，大山町。
- 31) 辻 陽雄：腰痛をめぐる。日本医師会雑誌座談会，1987，11，東京。
- 32) 伊藤達雄：R.A 頸椎病変の診断と治療。第105回北陸整形外科集談会。日本整形外科教育研修講演，1987，12，富山。

## ◆ 著 書

- 1) 泉 陸一：子宮体癌。「診断・治療マニュアル」阿部他編，1235-1237，金原出版，1987。
- 2) 長阪恒樹：X線検査法。「プリンシプル産科婦人科学」坂元正一他編，228-245，メジカルビュー社，1987。
- 3) 長阪恒樹：子宮内膜症。「プリンシプル産科婦人科学」坂元正一他編，494-505，メジカルビュー社，1987。

## ◆ 原 著

- 1) 野田起一郎，泉 陸一他：子宮頸癌および子宮体癌に対する Cisplatin の phase II Study. 癌と化学療法 **14**：1129-1135，1987。
- 2) Shiromizu K., Kawana T., Sugase M., Takizawa K., Kawagoe K. and Izumi R. : Pregnancies Following Conservative Treatment of Malignant Ovarian Tumors ; Arch Gynecol. Obstet. **241** : 57-62, 1987.
- 3) 川端正清，細川 仁，加藤 潔，泉 陸一：マウス移植株を用いた子宮頸部扁平上皮癌の制癌剤感受性に関する研究。癌と化学療法 **14**：3058-3063，1987。

## ◆ 症例報告

- 1) 長阪恒樹：頸管展退度100%，4分間歇60秒間の陣痛発作を抑制した双胎の一例。ウテメリン症例報告 No. 6，キッセイ薬品ドラッグインフォメーション，1987。
- 2) 加藤 潔，細川 仁，川端正清，栗栖久宣，泉陸一：AFP 産生性子宮内膜腺癌の1例。臨床婦人科産科 **41**：617-620，1987。

## ◆ 総 説

- 1) 泉 陸一，川名 尚：伝染性紅斑（リンゴ病）と胎児水腫。産婦人科の実際 **36**：1705-1714，1987。
- 2) 長阪恒樹：性器癌とプロスタグランジン。北海